

中心市街地活性化にむけて

チーム名 札幌勢+ONE

峯村 桂人 永島 弦人
細川 さや華 関井 唯人

滝川市の歴史

- 明治**23**年 滝川村戸長役場設置 北方警備と開拓のため
空知太に屯田兵**440**戸が入植
- 同 **27**年 江部乙に**400**戸入植 屯田兵の往来や上川道路
の開削に伴う資材供給で大いに栄える
- 同 **31**年 大規模な洪水に見舞われ開拓に大きな打撃を受ける
- 大正**2**年 上富良野線(現 根室線)開通 赤平や芦別からの
石炭輸送が活発化

(参考 滝川市HP)



滝川の発展の礎となった

石炭産業と中核都市

滝川含め空知地方は道内有数の石炭埋蔵量を誇る地質

戦後の国策もあって石炭産業が発展していった

赤平 住友赤平炭鉱 砂川 三井砂川炭鉱など

昭和32年 炭鉱数が過去最大の158まで増える

炭鉱住宅などの設置 各市町村の人口増加 (参考 空知総合振興局HP)



娯楽や買い物で**滝川や岩見沢などの中核都市が大きく発展**



中心市街地の誕生

滝川銀座商店街協同組合 昭和33年4月1日設立
自主的な経済活動を促進 組合員の地位向上を図る

滝川銀座名店商店街協同組合 昭和32年7月設立
事務所を栄町3丁目3番地におく

→栄町3－3地区は滝川の中心的地域だったことがうかがえる



鈴蘭商店街(ベルロード)を軸とした中心市街地の発展

滝川の2大商業施設

● 名店ビル

昭和32年7月着工 翌33年7月11日竣工完成

全階三階建て鉄筋コンクリート（四階は後で建て増し）

引き揚げマーケットから名店ビルへ激動の時代の象徴

→戦後疎開により空地の土地から域上げ者によるマーケットへ

その後火事で焼失するも再建案が上がり名店ビル誕生の背景がある

立地条件にも恵まれた 滝川市民も1つの誇り

しかし鉄筋コンクリートの技術は低い技術によるもので、部分改築によるスプリンクラーの設置も不可能に近いほど老朽化していた



滝川の2大商業施設

● 高林デパート

昭和48年12月テナント募集によりオープン

昭和53年6月増築オープン

増築により同デパートは中空知管内では随一の大型店舗となった

その他三楽街など酒を交わす場所も多く誕生（参考 滝川市史）



市民や周辺市町村民 特に炭鉱労働者やその家族などが多く来店
中心市街地は常に盛り上がっていた



しかし...

1960年代 日本では石炭に代わり石油が普及し始める
石炭の需要が年々減少 炭鉱の閉鎖相次ぐ

1987年 砂川三井炭鉱 1994年 住友赤平炭鉱 閉山

1995年 空知炭鉱(歌志内)閉山 空知から炭鉱が消える

空知の基幹産業失う 炭鉱住宅閉鎖による人口減少



空知が**衰退の一途**をたどっていく

中心市街地の衰退

先述の炭鉱閉鎖や人口減少により中心市街地に陰りが...

1991年 名店ビル内の金市館(現 ラルズ)撤退 空きビルとなる

1996年 高林デパート内の食料品店「くにい」が撤退

同年6月 衣料品スーパー 三番館出店 再起を図る

→デパートの柱である食料品店が空き状態 テナント撤退相次ぐ

2014年 7月 三番館撤退 空きビルとなる

(参考 都市商業研究所HP)

さらには...

1990年 滝川バイパス開通 (空知太～東町・文京町～北滝の川)

1996年 ハイパーマート滝川店(現 イオン滝川店) 開店

バイパス沿いに全国チェーンの多業種の店舗が林立
アクロスプラザ 中・北空知唯一のマクドナルド
周辺から車で多くの来店客 まとめて買い物できる
若者向けの店 流行を感じられる
→中心市街地にわざわざ行かなくても用を済ませる



ついに...

2003年8月 西友滝川店 (現 スマイルビル)閉店

2016年1月 JOY滝川栄町店 閉店

中心市街地から食料品店が消える

ミスタードーナツのイオン移転 歌屋閉店

ベルロードの商店数も減る一方 店主の高齢化で閉業

空き店舗の増加 放置され続けビルに木が生えているなど



シャッター街化した今の滝川の中心市街地となる





高林さん(高林デパート)が盛り上がっていたころは今のスマイルビルにあった西友とお客さんを取り合っていた。

けれど炭鉱関連がなくなったり、東町にイオンが出来たりしてここに来る人が少なくなるとお互い共倒れしてしまった。中心市街地のメインの店がなくなってしまったことで商店街全体の活気がなくなってしまった。

メガネのシオジリ
(栄町2丁目)



おかしのおかだ
(栄町2丁目)

一日平均10人来ればよいほう。
来ないときは4人とかの日も
あった。ベルロードに関して
は活性化させる施策を昔やっ
ていたがなかなかうまくいか
ずに終わっている。
一時期閉店も考えていたが本
店が空知町で駅から遠いため
こんなに駅に近い店舗を手放
すのはもったいないと感じた。
どうにかしてベルロードが元
気になればと思う。

中心市街地の再開発

●滝川駅前の再開発事業案

駅前に広場や大型店舗をつくる案

大都市(札幌や旭川)に客が逃げることを食い止めようとした

(参考 滝川市史)

●商店街活性化施策

地産地消レストラン「た・べる」

コミュニティカフェ「need it」

チャレンジショップ「ふらっと」の3拠点から活性化

なかなかうまくいかなかった

中心市街地に関するアンケート

内容 中心市街地の利用頻度やあればよいお店、後述する私たちが考える
中心市街地の理想案の賛否や理由について

対象 滝川市民全員

調査方法 滝川市内 3 高校に通う高校生→GoogleForm
各スポット(以下参照)→紙のアンケート

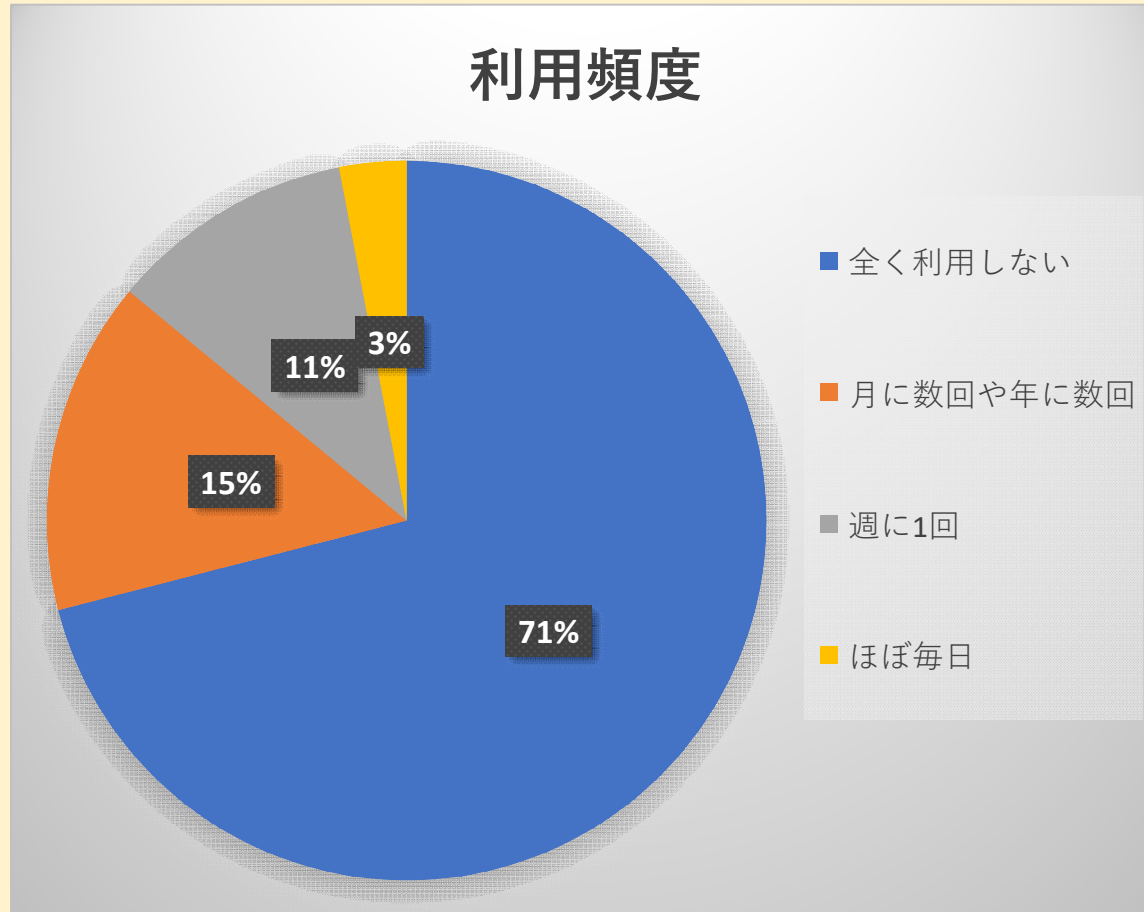
各スポット→イオン滝川店 アクロスプラザ 滝川駅

実施期間 7月7日から7月14日

有効回答数	GoogleForm	162回答		
	紙	22回答	計	184回答



Q、普段中心市街地(ベルロードなど)を利用しますか



全く利用しない人の理由

- ・行く用事がない
- ・昼は誰も歩いていなく、夜は街灯も薄暗いためあまり近寄りたくない
- ・若者向けの店が何もないから
- ・イオンで用事を済ませられる

全く利用しない以外の回答者の行くお店

- ・e-style
- ・自転車屋
- ・高田屋
- ・おかしのおかだ etc

現状分析

- ・ 中心市街地は市民や周辺市町村民、特に空知の炭鉱産業に従事する労働者やその家族などによって賑わいを見せていた。
- ・ しかし炭鉱産業が消滅し人口減少が始まると来店客数は減少、さらに東町のイオンをはじめとした滝川バイパス周辺における全国チェーン店などの出店が、中心市街地の衰退を加速させた。
- ・ 店主高齢化による店舗数の減少、若者向けの店も軒並み閉店、移転が進んだ結果、多くの市民が使うことがなくなり、シャッター街化した。

自分たちが
解決しなければ
ならないこと
とはなにか

ベルロード全体の老朽化

- 積雪による倒壊のおそれ
- 新規入店希望者から維持管理の不安
- 治安の悪化

一度まっさらにして新しい中心市街地を作るべきではないか...

今後の中心市街地の理想像

ベルロードを緑地公園化し人々の交流の場に

札幌の大通公園や名古屋の久屋大通公園をモチーフ



現段階での理想図

青い部分を完全に
緑地公園化し
施設やお店を
バランスよく配置



緑地公園に設置する施設、設備

中空知のアンテナショップ
レストラン(既存店含む)
噴水やベンチ 子供用の遊具
自習ができるようなカフェ
コンビニ
ドッグラン など

佐賀市を例に

公共施設 民間施設の緑化

各施設にみどりを増やそうという計画 既存の建物の一定面積を緑化することを義務付けている

地区で取り組みをする場合は緑化支援補助金の助成の対象となる
(参考 佐賀市HPより)

佐賀は今ある建物を緑化するが滝川では対象地域の建物を取り壊し、その一帯を緑地化する

公園はどのような目的 であるのか

公園を設置する目的は、**人々のレクリエーションの空間**、良
好な都市景観の形成、都市環境の改善、都市の防災性の向上、
生物多様性の確保、豊かな地域づくりに資する交流の空間の
提供である。

国土交通省関東地方整備局より

なぜ緑地公園なのか

商店があっても人が来なければ賑わいは戻らない
中心市街地における人の往来を多くさせるのが先決！

市民アンケートでも広場や公園、子供の遊び場(屋内)など商業的なもの以外での回答が多く目立つ

(参考 滝川市資料より)

なぜ緑地公園なのか

滝川にもいくつかの公園があるが整備が不十分だったり
遊具が少なかったりと子供や高齢者が満足して遊べたり
散歩することが難しい

→**ファミリー層や高齢者**を中心市街地に呼び込めるのでは

高校生が電車の待ち時間にのんびり過ごせる場所がほしい
(アンケートより)

→芝生でゆっくり寝転がれる ベンチでゆっくり過ごせる場所



市民が自然と集まるような場所になる！

こういったショップやレストラン

滝川をはじめとした中空知の名産品や工芸品など販売するマルシェ
(例 上砂川のニジマス燻製 鞆のいたがき 奈井江のゆり根など)

地産地消のレストラン ショップ
(例 ガタタンラーメン 菜の花ピザ うりゅう米の米粉パンなど)

道の駅は江部乙にあり車利用が前提(JRも1日数本程度)

特急停車駅である滝川駅前に置くこと札幌～旭川を移動する観光客にも途中下車して買い物や食事していただくことができる。

なぜ観光客？

※まちづくり三法では少なくとも20～30万人未満の人口規模の町の中心市街地人口には人口増加などの効果をもたらさないことが指摘できよう。

人口が小規模な街は独自の取り組みを実施するなど、観光などで熱心なところも多いが、一般的には商圈人口が小さいために産業基盤が脆弱なことから、人口の減少傾向が強くなっている。

(足立基浩 シャッター通り再生計画 明日から始める活性化の極意 より)

※まちづくり三法→大規模小売店舗立地法 中心市街地活性化法 都市計画法

→滝川の人口は38929人(令和3年3月現在) 周辺市町村では砂川市 16011人(令和4年) 赤平市 9233人(令和4年) 芦別市 12483人(令和4年)

→商圈人口が少なく中心市街地人口が減少することは否めない。商圈人口だけでの活性化は難しい。観光客を呼び寄せて賑わいを取り戻すべきだ

①中心市街地のイメージUP

中心市街地は寂しい、人気がなく怖い

→緑地化することで**開放的**で市民の憩いの場に！

公共交通機関の利用が年数回、利用しないが約9割を占めている

→鉄道や各バス路線の集積する駅前でアクセス抜群

改善の優先度が高い除雪などの雪の対策(参考 滝川市資料)

堆雪スペースとしても活躍 雪合戦できるスペースづくり

②外部からの観光客増加 SNS映え

中空知のショップやレストランなど

中空知を手軽に堪能できる場所にする

→札幌～旭川間を移動する観光客が滝川によってみようという気持ちになる

滝川名産の菜の花を植えた菜の花ガーデン

インスタ映えを狙い若者受けを良くする

市民だけでなく観光客も楽しめる場に！

③防災機能

- 公園は防災機能としても活躍
- 普段の公園は、遊び場、運動や散歩の場、休息の場などで使われていますが、災害時にも重要な役割を果たします。**火災時の延焼遅延の機能、一時的な避難場所、仮設住宅の用地**など、安全で災害に強い街づくりに役立っています。
(参考 世田谷区HP)
- 商店街は空知川の氾濫により**最大5.0mの浸水**が予想される。
(参考 滝川市資料)



緑地化することで氾濫時の一時的な貯水機能
火災が起きた場合の延焼予防にもなる

防災目的で作られた公園の事例

●札幌大通公園

1871年に中心部を北の官庁街と南の住宅・商業街にわける大規模な火防線がつくられた。

→これが大通公園の始まり

●久屋大通公園

太平洋戦争末期の空襲で名古屋市街は壊滅的な打撃を受ける。

戦後の復興事業の一環として、防火帯を意識した久屋大通の整備が始まる。

→のちの久屋大通公園となる

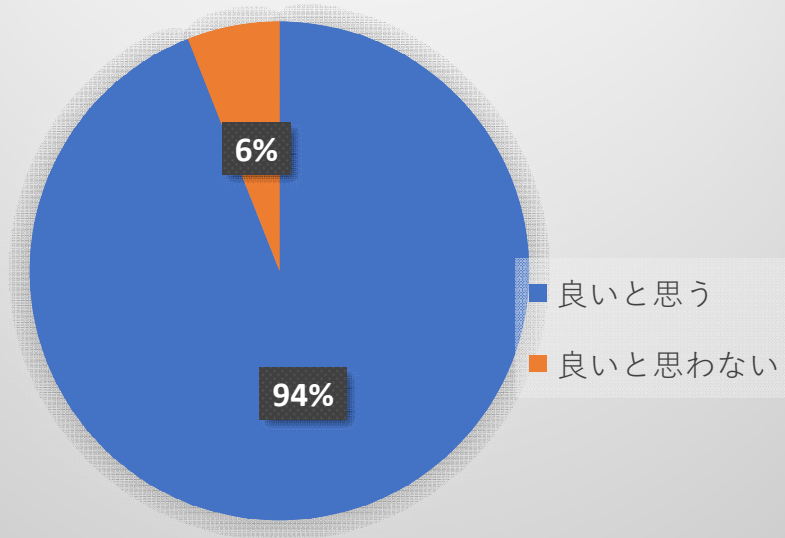


ダイヤモンドリリー(雑貨屋)
栄町3丁目

私(店主)も昔新聞のコラムで緑地化すればよいのではということを書いたことがあるのであなた方の意見には賛成寄りの立場です。そして私は犬を飼っているのですが犬と遊べる場所があればもっと良いのではと思う。例えば砂川のこどもの国にもドッグランはあるが市内にもあればもっと便利なのになあと思います。

Q、この案についてどう思いますか

賛否



良いと思うと答えた人の理由

- ・ 景観が良くなって待ち合わせ場所とかに使えるから
- ・ 学校帰りに寄り道する場所が増えるから
- ・ 老人たちの憩いの場になるから
- ・ 駅が密になるのを回避できるから

良いと思わない人の理由

- ・ 空き店舗の取り壊し費用がばかにならないから
- ・ 滝川市内の公園みたいに管理が行き届かなくなると思うから

中心市街地の定義

- 一 当該市街地に、相当数の小売商業者が集積し、及び都市機能が相当程度集積しており、その存在している市町村の中心としての役割を果たしている市街地であること。
 - 二 当該市街地の土地利用及び商業活動の状況等からみて、機能的な都市活動の確保又は経済活力の維持に支障を生じ、又は生ずるおそれがあると認められる市街地であること。
 - 三 当該市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進することが、当該市街地の存在する市町村及びその周辺の地域の発展にとって有効かつ適切であると認められること。
- 内閣官房地域活性化統合事務局 中心市街地活性化推進委員会より

串と団子型のコンパクトシティを目指す

富山市が行った都市計画で、串が公共交通を意味し徒歩圏をお団子として喩えており、徒歩生活圏（お団子）が公共交通（串）で結ばれる都市構造を目指すものである。

滝川にあてはめると

滝川駅前 中心市街地 緑地公園 【文化地区】



大町 市役所 市立病院 看護学院 裁判所 【行政地区】



東町 イオン滝川店 イーストタウン



【商業地区】

文京町 アクロスプラザ 國學院短大

公共交通(市内線)の利用率増加 最終便の延長

政策

- ・ベルロード全体の建物(スマイルビル含む)を解体する。
 - ・残存する店舗(飲食店以外)には近隣に移転してもらう。
- スマイルビル跡地にスモールタウンとして開業
- ・法律に合わせた公園づくりをしていく
 - ・ショップやレストラン等をバランスよく配置していく

滝川を中心市街地から元気に！！

参考文献

空知総合振興局HP 「そらち炭鉱(やま)の記憶をめぐる そらちミニ炭鉱史」
[そらち炭鉱（やま）の記憶をめぐる そらちミニ炭鉱史 - 空知総合振興局地域創生部地域政策課 \(hokkaido.lg.jp\)](http://hokkaido.lg.jp)

佐賀市HP 「公共施設 民間施設の緑地化」
[公共施設・民間施設の緑化 | 佐賀市公式ホームページ \(saga.lg.jp\)](http://saga.lg.jp)

都市商業研究所 都市商業ニュース
[高林デパート・滝川名店ビル（金市館）の解体はじまる－再開発で病院・銀行に | 都市商業研究所 \(toshoken.com\)](http://toshoken.com)

北海道開発局 札幌開発建設部 開拓初期：空知川流域一暮らし・社会【札幌開発建設部】治水100年
[開拓初期:空知川流域-暮らし・社会【札幌開発建設部】治水100年 | 札幌開発建設部 \(mlit.go.jp\)](http://mlit.go.jp)

[takikawa.pdf \(spo-com.net\)](http://spo-com.net)

参考文献

足立基浩 シャッター通り再生計画 明日からはじめる活性化の極意 2010年 P24～29

滝川市史 上巻 下巻 続巻

滝川市HP 「滝川市のプロフィール(歴史)」

[滝川市のプロフィール（歴史） - 滝川市役所 公式ホームページ \(city.takikawa.hokkaido.jp\)](http://city.takikawa.hokkaido.jp)

滝川市資料